

第56期 中間事業報告書

2004年4月1日～2004年9月30日

株主のみなさまへ



普通の暮らしをより豊かに・より便利に・より楽しく

DISCOUNT STORE
MrMax

(証券コード 8203)

B U S I N E S S R E P O R T



代表取締役社長 平野 能章

株主のみなさまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

2004年9月30日をもって、当社第56期中間期(2004年4月1日から2004年9月30日まで)が終了いたしましたので、ここに当中間期の「中間事業報告書」をお届けし、営業の概況等をご報告申し上げます。

●第56期中間連結業績の概要

当中間期において、当社グループは前期中に基盤作りを行った自社物流の仕組みを活用し、よりローコストな店舗運営によって収益力の強化を目指すとともに、品揃えの充実と、利便性の高いお買い物環境の維持に取り組んでまいりました。

当中間期の連結決算は、8月のオリンピック開催期間中の消費不振、9月の台風による影響などで、営業収益は456億28百万円(前年同期比96.1%)と減収となりましたが、収益面では、店舗作業改革など収益力強化のための取り組みが奏効し、経常利益は、7億45百万円(前年同期比170.4%)の増益となりました。中間純利益は、店舗閉鎖に伴なう特別損失の計上等により1億89百万円(前年同期比94.4%)となりました。

当期の中間配当金につきましては、1株につき5円をお支払させていただきます。当社は、配当の継続を重視しており、会社の経営成績及び財政状態並びに今後の見通し等を総合的に勘案しながら、安定的な配当の実施に努めてまいります。

もくじ

株主のみなさまへ ……1	株式情報 ……8
財務ハイライト ……2	会社概要 ……8
トピックス ……3	株式手続きのご案内 ……9
連結財務情報 ……5	株主メモ ……10
単体財務情報 ……7	アンケート ……10

財務ハイライト(連結決算)

(単位:百万円・百万円未満切捨)

		第53期 (2001年度)	第54期 (2002年度)	第55期 (2003年度)	第56期 (2004年度)
営業収益	中間期	49,002	45,820	47,493	45,628
	通期	98,076	92,440	93,439	—
営業利益	中間期	384	614	305	328
	通期	886	1,314	1,177	—
経常利益	中間期	475	811	437	745
	通期	1,064	1,617	1,428	—
当期(中間)純利益	中間期	212	440	200	189
	通期	438	687	707	—
総資産		82,988	80,155	78,756	77,579
株主資本		28,324	28,380	28,605	28,358
有利子負債		27,615	26,052	24,516	24,833
株主資本比率(%)		34.1	35.4	36.3	36.6
デット・エクイティ・レシオ(倍)		0.97	0.92	0.86	0.88

(注) デット・エクイティ・レシオ(負債資本比率)

●第56期通期の見通し

生活必需品、高頻度消耗品の安さを訴求するため、商品陳列、チラシレイアウトの変更を行います。10月に賃貸契約満了に伴ない「館林店」(群馬県)を閉店、また、11月には「北茂安店」(佐賀県)の改装を行いました。2005年3月には千葉県美浜区に「千葉美浜店」を開店する予定です。

2005年3月期の連結決算は、営業収益910億円(前期比97.4%)、経常利益16億円(前期比112.0%)、当期純利益7億円(前期比99.0%)を見込んでおります。

当社グループは、お客様に楽しく安心してお買い物をしていただけるよう、収益力、財務体質の一層の強化とさらなる経営の効率化に努め、「お客様の普段の暮らしに必要な商品を豊富に品揃えし、安い価格で提供し続ける」というディスカウントストアとしての使命を果たすことにより、地域社会のインフラを目指していく所存でございます。

株主のみなさまにおかれましては、何卒一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2004年12月

代表取締役社長 平野 能章

「安さ365日。DISCOUNT Everyday!」

当社グループは、「お客様に満足していただくこと」を使命と考え、「Guest First」を行動指針といたしております。店づくり、品揃え、価格設定など、当社の営業活動全般において、お客様の声に耳を傾け、お客様のために考え、お客様にとって価値ある商品、サービスを提供できる企業を目指しています。特売日だけ安いのではなく、毎日、いつでも安い価格でお買い物を楽しんでいただけることを目指し、「安さ365日。」をプライス・ポリシーに掲げています。その施策の一つとして取り組んでいるのがプライベート・ブランドづくりです。品質と価格のバランスが優れた、普段の暮らしを楽しむお値打ち商品です。「Make a GOOD CHOICE!」と「SELF STYLE」の2つのブランドがあります。

Make a
**GOOD
CHOICE!**



玉露入りお茶
350ml缶 40円

年間販売量200万本を超えるヒット商品に

年間を通して、飲む量の多いお茶。毎日飲むものだからこそ、安くて良いものをと、厳選された上質の茶葉と自然水を使用しています。美味しさにこだわりながら、この価格を実現しました。

2001年の導入以来、お客様の絶大なご支持をいただき、毎年年間200万本を超える人気商品となっています。

容量は、350ml缶以外にもご家族にお得な2L、携帯に便利な500mlのペットボトルタイプを取り揃えています。また、烏龍茶も同様の品揃えをしています。



プライベート・ブランドのおすすめ商品を
ホームページに掲載しています。
<http://www.mrmax.co.jp/private/>



2005年3月、千葉県3号店を開店予定

「新習志野店(2000年12月開店)」、「おゆみ野店(2003年5月開店)」に続く千葉県3号店の開店を、2005年3月に予定しています。千葉市美浜区新港の商業施設「ミハマニューポートリゾート」の隣接地に、当社と首都圏を中心に急速成長しているスーパーマーケット・チェーン「株式会社サンベルクス」とが区分所有にて店舗を建設いたします。新店舗の立地は、「新習志野店」と「おゆみ野店」のほぼ中間に位置し、半径5kmに42万人を有する厚い商圈を抱えています。2003年10月に開設した「関東物流センター(市川市)」を活用し、湾岸エリアへの出店を進める上で重要な出店と位置付けています。



MrMax千葉美浜店完成予想図

コンプライアンスへの取り組み

2004年8月、ミスターマックスグループのコンプライアンス体制構築とその徹底、推進を行うため「コンプライアンス委員会」を設置いたしました。当委員会は、ミスターマックスグループ各社における法令違反、企業倫理に反する行為など社内不正の未然防止並びに早期発見を的確に行うことを目的としております。

10月には、ミスターマックスグループの役員及び社員が守るべき行動規範として、「ミスターマックスグループ行動規範」を制定するとともに、法令違反や企業倫理上の問題等に関する相談を受け付ける窓口として、「ミスターマックス コンプライアンス・ヘルプライン」を社内外に設置しました。

当社は、10月22日、公正取引委員会より「私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律」第48条第1項の規定に基づく勧告を受け、応諾いたしました。株主の皆様には、ご心配をお掛けいたしましたことを深くお詫び申し上げます。今後は、同勧告に従って必要な措置を講じるとともに、コンプライアンス体制の更なる見直し・強化を図り、全社を挙げてコンプライアンス精神の浸透に取り組んでまいります。

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円・百万円未満切捨)

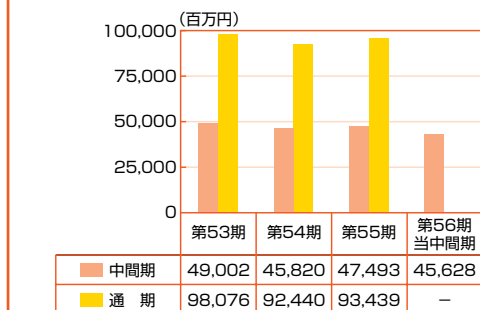
科目	当中間期 2004年4月1日から 2004年9月30日まで	前中間期 2003年4月1日から 2003年9月30日まで
営業収益	45,628	47,493
売上高	44,126	46,081
不動産賃貸収入	1,501	1,412
売上原価	35,283	37,162
(売上総利益)	8,843	8,918
営業総利益	10,345	10,330
販売費及び一般管理費	10,017	10,025
営業利益	328	305
営業外収益	596	378
営業外費用	178	246
経常利益	745	437
特別利益	4	15
特別損失	371	32
税金等調整前中間純利益	379	420
法人税、住民税及び事業税	210	213
少数株主損益	20	△5
中間純利益	189	200

業績成果

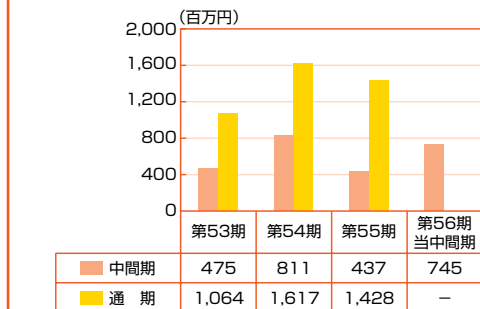
営業収益は、猛暑の影響でエアコンなどの季節商品は好調でしたが、台風やオリンピック期間中の消費不振などにより、456億28百万円(前年同期比96.1%)と減収となりました。

利益面では、物流センターの稼動により、荒利益率(売上総利益率)が20.0%と前年同期に比べ0.6ポイント改善したこと、また、店舗作業改革など収益力強化の取り組みによって経費を抑制したことにより、営業利益は3億28百万円(前年同期比107.4%)と増益となりました。経常利益は、テナント解約収入2億79百万円を営業外収益に計上したこと等により7億45百万円(前年同期比170.4%)と大幅な増益となりました。中間純利益は、店舗閉鎖に伴う特別損失の計上等により1億89百万円(前年同期比94.4%)と減益となりました。

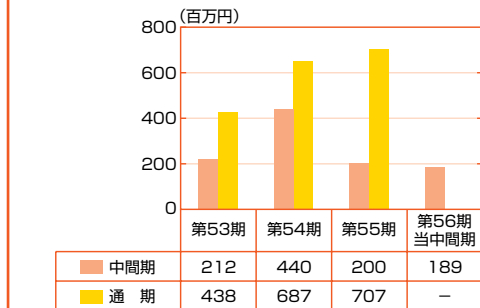
■営業収益



■経常利益



■当期(中間)純利益



連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円・百万円未満切捨)

科 目	当中間期	前 期
	2004年9月30日現在	2004年3月31日現在
資産の部		
流動資産	12,869	14,190
(うち現金及び預金)	1,605	1,577
(うちたな卸資産)	8,680	9,023
固定資産	64,709	64,565
有形固定資産	51,892	51,243
無形固定資産	882	704
投資その他の資産	11,934	12,618
資産合計	77,579	78,756
負債の部		
流動負債	23,699	25,866
固定負債	25,465	24,208
負債合計	49,165	50,074
少数株主持分	55	76
資本金	10,229	10,229
資本剰余金	9,944	9,944
利益剰余金	9,094	9,113
その他有価証券評価差額金	△55	△80
自己株式	△853	△600
資本合計	28,358	28,605
負債、少数株主持分及び資本合計	77,579	78,756

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円・百万円未満切捨)

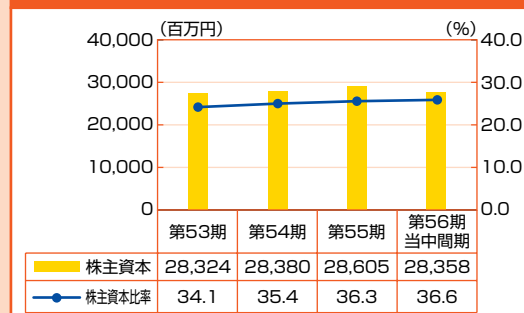
科 目	当中間期	前中間期
	2004年4月1日から 2004年9月30日まで	2003年4月1日から 2003年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,292	2,243
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,140	△912
財務活動によるキャッシュ・フロー	△124	△817
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増加額	27	513
現金及び現金同等物の期首残高	1,577	2,899
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,605	3,412

財務状況

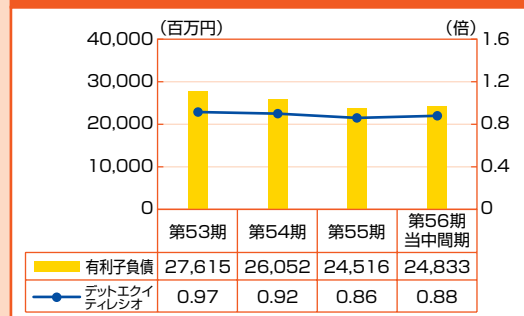
店舗投資の見直しなど資産の効率化に努めた結果、総資産は前期末に比べ11億77百万円(1.5%)減少いたしました。

自己株式の買付けを継続し、資本合計における自己株式の控除額は8億53百万円となりました。総資産の減少により自己資本比率は36.3%から36.6%へと改善いたしました。

■株主資本・株主資本比率



■有利子負債・デットエクイティレシオ



キャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、前中間期における仕入債務増加の影響がなくなったこと等により、12億92百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、「MrMax橋本ショッピングセンター」(福岡市)及び「ハイパーモールメルクス伊勢崎」(群馬県)の店舗投資を行ったこと等により、11億40百万円の支出となりました。

単体損益計算書(要旨)

(単位:百万円・百万円未満切捨)

科 目	当中間期	前中間期
	2004年4月1日から 2004年9月30日まで	2003年4月1日から 2003年9月30日まで
営業収益	44,475	46,504
売上高	42,940	45,072
不動産賃貸収入	1,535	1,432
売上原価	34,323	36,365
(売上総利益)	8,616	8,706
営業総利益	10,152	10,138
販売費及び一般管理費	9,784	9,847
営業利益	368	290
営業外収益	595	378
営業外費用	180	243
経常利益	783	426
特別利益	4	15
特別損失	371	33
税引前中間純利益	416	408
法人税、住民税及び事業税	209	213
中間純利益	206	194
前期繰越利益	309	466
中間未処分利益	516	660

単体貸借対照表(要旨)

(単位:百万円・百万円未満切捨)

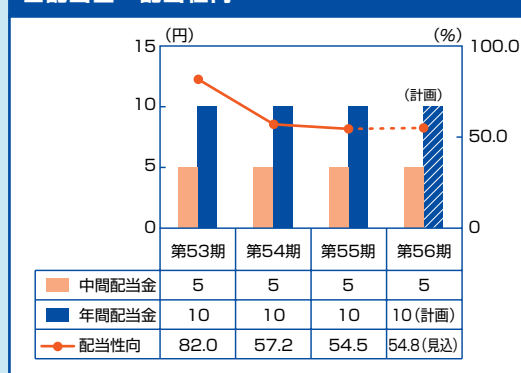
科 目	当中間期	前 期
	2004年9月30日現在	2004年3月31日現在
資産の部		
流動資産	12,241	13,474
(うちたな卸資産)	8,301	8,605
固定資産	64,940	64,795
有形固定資産	51,873	51,221
無形固定資産	880	702
投資その他の資産	12,186	12,870
資産合計	77,181	78,269
負債の部		
流動負債	23,185	25,300
固定負債	25,498	24,241
負債合計	48,684	49,541
資本の部		
資本金	10,229	10,229
資本剰余金	9,944	9,944
利益剰余金	9,233	9,234
その他有価証券評価差額金	△55	△80
自己株式	△853	△600
資本合計	28,497	28,727
負債及び資本合計	77,181	78,269

配当の状況

当中間期の配当金は、1株当たり5円とさせていただきます。なお、当期の年間配当金は、1株当たり10円を予定しております。

今後も株主の皆様への利益還元を最も重要な課題の一つと考え、経営にあたってまいります。

■配当金・配当性向



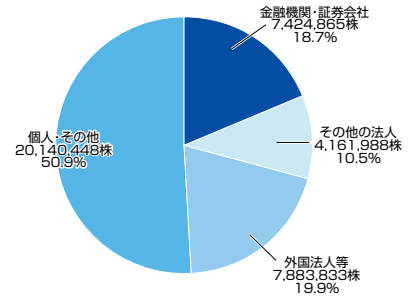
株式情報 (2004年9月30日現在)

- 会社が発行する株式の総数 80,000,000株
- 発行済株式の総数 39,611,134株
(注) 当期中の増減はありません。
- 1単元の株式の数 100株
- 株主数 13,935名
- 大株主 持株数 単位=千株
持株比率 単位= %

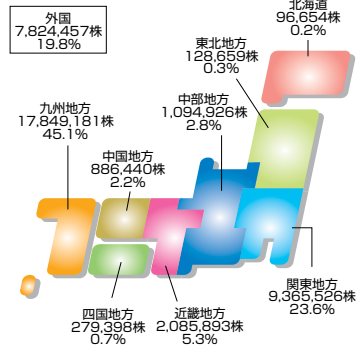
株主名	持株数	持株比率
ヒラノマネージメントビーヴィ	6,435.5	16.24
平野能章	1,850.7	4.67
有限会社 Waiz Holdings	1,600.0	4.03
株式会社福岡銀行	1,404.2	3.54
平野淳子	1,344.8	3.39
ロンパー・オディエ・ダリエ・ヘンチ	1,165.0	2.94
MrMax社員持株会	1,159.4	2.92
ミスターマックス取引先持株会	943.0	2.38
日本興亜損害保険株式会社	846.6	2.13
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託)	791.1	1.99

- (注) 1. 株主数は百株未満を切り捨てて表示しております。
2. 当社は自己株式2,584,044株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。

●所有者別株式分布状況



●地域別株式分布状況



会社概要 (2004年9月30日現在)

- 社名 株式会社ミスターマックス
(商号 株式会社MrMax)
(英文名 MR MAX CORPORATION)
- 創業 1925年10月
- 設立 1950年12月
- 資本金 10,229百万円
- 従業員数 746名
- 主要な事業所
本部 福岡市東区松田一丁目5番7号
東京本部 東京都渋谷区渋谷二丁目16番5号
- 店舗数 40店(2004年11月30日現在)

●役員

代表取締役会長	平野比志志
代表取締役社長	平野能章
常務取締役	樋口一夫
常務取締役	小田康德
常務取締役	佐藤昭彦
取締役	吉田康彦
取締役	石田富英雄
取締役	中野英一
常勤監査役	松本淳
監査役	岩木宗春
監査役	村山勇吉
監査役	岩崎明弘

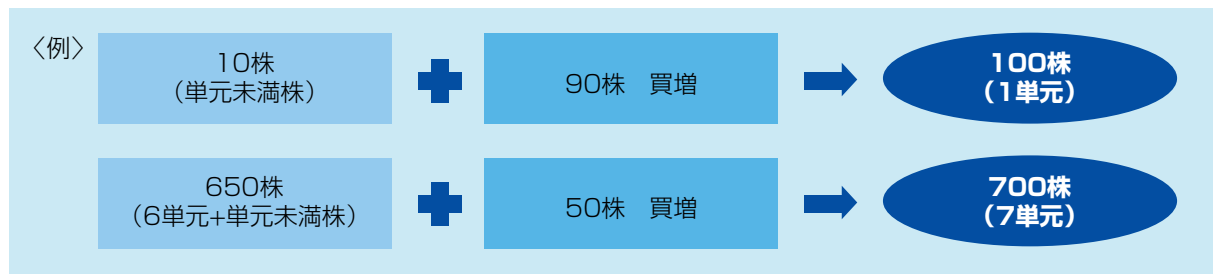
単元未満株式（100株未満の株式）の買増及び買取制度について

当社の株式は100株が1単元（最低売買単位）となっておりますので、単元未満株式（100株未満の株式）については市場で売買することができません。

現在当社では、単元未満株式について、以下の買増及び買取制度を行っております。

●単元未満株式の買増制度

株主様がお持ちになっている単元未満株式と合わせて1単元（100株）となる数の株式を、当社が市場価格にて株主様に売却いたします。



●単元未満株式の買取制度

株主様がお持ちになっている単元未満株式を、当社が市場価格にて買取いたします。

※単元未満株式の買増及び買取のお手続きをご希望の方は、下記のUFJ信託銀行証券代行部へお問い合わせください。

なお、保管振替制度ご利用の場合は、株券を預託されている証券会社等にお問い合わせください。

株式に関するお問い合わせ・郵便物送付先

〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

UFJ信託銀行株式会社大阪支店証券代行部

電話（通話料無料）0120-094-777

株式の事務手続き（届出住所・印鑑・姓名等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書、株式名義書換請求書等）書類のご請求につきましては、下記UFJ信託銀行の電話及びインターネットでも24時間承っておりますので、ご利用ください。

- 電話（通話料無料）0120-244-479（本店証券代行部）
0120-684-479（大阪支店証券代行部）
- インターネット <http://www.ufjtrustbank.co.jp/>

※保管振替制度ご利用の場合は、株券を預託されている証券会社等にお問い合わせください。

株主メモ

決算期

3月31日

定時株主総会開催

6月

基準日

定時株主総会の基準日 3月31日

その他必要があるときは、取締役会で決議し、

あらかじめ公告する一定の日

配当金受領株主確定日

利益配当金 3月31日

中間配当金 9月30日

1単元の株式の数

100株

公告掲載新聞

日本経済新聞

当社は、貸借対照表及び損益計算書を、決算公告に代えて、ホームページに掲載いたしております。

<http://www.mrmax.co.jp/ir/account/koukoku.html>

名義書換代理人

東京都千代田区丸の内一丁目4番3号

UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所

〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

UFJ信託銀行株式会社大阪支店証券代行部

0120-094-777(通話料無料)

同取次所

UFJ信託銀行株式会社本支店

野村證券株式会社本支店

上場証券取引所

東京証券取引所市場第一部

福岡証券取引所

<該当する項目に○をおつけください>

●当社株式をどのくらい保有されていますか

1. 半年未満
2. 半年以上～1年未満
3. 1年以上～3年未満
4. 3年以上～5年未満
5. 5年以上

●当社の株式を購入された理由は何でしょうか(○はいくつでも)

1. 成長が期待できる
2. 事業内容が魅力的
3. 企業戦略が優れている
4. 経営者に魅力がある
5. 企業イメージが良い
6. 財務内容が良い
7. 配当が魅力
8. 最低投資金額が少ない
9. 株価が割安
10. その他()

●今後の当社株式についてどのような方針をお持ちですか(○はいくつでも)

1. 長期保有
2. 買い増し
3. 短期保有
4. 売却
5. その他()

●今回の中間事業報告書で関心を持たれた記事はどれですか(○はいくつでも)

1. 株主のみなさまへ
2. 財務ハイライト
3. トピックス
4. 財務情報
5. 株式手続きのご案内

●今回の「中間事業報告書」について以下の項目についてご評価ください

- 情報の充実度
- 1. 満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満
- 文字の大きさ
- 1. 満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満
- 文章の読みやすさ
- 1. 満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満
- 表・グラフのみやすさ
- 1. 満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満
- デザイン
- 1. 満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満

●当社または本誌(中間事業報告書)へのご意見・ご感想などご自由に ご記入ください

ご協力ありがとうございました。

アンケートのお願い

当社では、本誌(中間事業報告書)を含め、みなさまへの情報提供を充実させていきたいと考えております。

つきましては、誠にお手数ではございますが、上記アンケートハガキにご記入のうえ、そのままご投函くださいますよう、ご協力をお願い申し上げます。(切手は不要です。)

なお、アンケートにご協力いただきました方の中から抽選で50名の方に、当社プライベート・ブランド商品をごプレゼントさせていただきます。株主のみなさまのご応募をお待ちしております。(当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。)